

看護

2022 Vol.152

11月20日発行

公益社団法人
新潟県看護協会機関誌

にいがた

Series

つながる・ひろがる・たかめる
専門性の高い看護

Contents

02 副会長あいさつ／支部の活動紹介

03/04/05 支部の活動紹介

06/07 つながる・ひろがる・たかめる専門性の高い看護

08 認定看護師の活動報告

09 2022年度WLB推進事業研修報告

10 高校生一日看護師体験事業／セカンドレベル研修報告

11 ナースシップよりお知らせ／新潟県ナースセンターからのお知らせ

12 お知らせコーナー

副会長あいさつ



新潟県看護協会
副会長 五十嵐 直子

副会長の五十嵐です。未だ続く新型コロナの脅威、繰り返される自然災害への対応など様々な看護の課題に尽力いただいている皆様に敬意を表します。看護協会は、そんな看護職を支える存在でありたいと考えています。副会長として6年目です。社会情勢や人々のニーズを踏まえ、看護職が、それぞれの職場でいきいきと活躍できるよう、様々な形で皆様の声を聞き協会の活動に繋げていきたいと考えます。どうぞよろしくお願いいたします。



新潟県看護協会
副会長 渡辺 典子

2019年度末以降に登場した新型コロナウイルス感染症は、2年を経過した今も変異しながら感染拡大を繰り返しています。その中で看護職の方は、自身もリスクに晒されながら人びとの看護にあたっています。人びとのいのちと生活を守る看護の役割も確実に広がり、期待も高まっています。それに応えるために看護の力の一層の強化を会員の皆様と連携・協働して取り組み、協会活動のさらなる充実を図ってまいりたいと思います。

支部の活動紹介

村|上|支|部|

村上支部長 遠藤 晶子



村上地域は8月3日から4日にかけて見舞われた大雨による水害により多くの住民が被災し、いまだ復興しておりません。また、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、病院では医療従事者の感染により入院の受け入れ困難や診療制限等により患者さんが受診に迷うような状況も見受けられます。地域で暮らす皆様が安心して生活できる日常が1日も早く戻ってくることを願っております。

村上支部活動としては、度重なる災害により今年も研修会等を紙面開催として活動を縮小しますが、一致団結し目の前のことを確実にやっていければと考えております。今後も、看護協会会員数の維持と啓蒙活動に努めてまいります。今後ともご支援、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

新|発|田|支|部|

新発田支部長 落合 美恵子



新発田支部では、令和4年6月29日に支部集会を開催しました。コロナ禍での開催の為、新旧役員のみで行いました。その後、交代する役員の引継ぎと職能別に分かれての話し合いを行いました。

新メンバーでの支部会議は、8月31日に脳神経センター阿賀野病院で行いました。初めての場所で皆さん迷わずに到着できるのか不安はありましたが、無事に全員揃ってホッとしました。

今年度は、三職能合同の研修会を予定しています。講師は鎌田 敏氏でZOOMによるオンライン研修です。「こころ元気に仕事をするには」というテーマです。心も体も精一杯頑張っている皆さんに、少しでもホッとする時間と元気をお届けできればと、思います。また、新支部長としてわからない事ばかりで四苦八苦していますが、役員や会員の皆様の力をお借りしながら、できる事を増やしていきたいと思っております。

支部の活動紹介

県央支部

県央支部長 丸山 聡子

県央支部では、新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら、役員を中心に令和4年6月に通常集会を開催しました。一方、例年だと集会と同時に開催している特別講演は、開催に向けて検討してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況により、開催を断念しました。大変、残念に思います。

各職能活動につきましては、コロナ禍であっても、それぞれが時期や対策を考慮しながら研修会に取り組みました。保健師職能は「虐待から子どもを守るために～リスクを抱える保護者との関係の気づき方～」、看護師職能は「地域包括ケアシステムにおける多職種の役割～よりよい連携を目指して～」、助産師職能は長岡支部と合同で「行政・地域で支える切れ目のない母子保健」をテーマに専門職としての学びを深め、地域における役割などを学びました。今後の活動に生かしていきたいと思っております。



長岡支部

長岡支部長 棚橋 一道



長岡支部では、6月25日役員引き継ぎ会を開催し、今年度のスタートを切りました。

当初、糖尿病を知るつどい実行委員会、すこやかともじびまつり実行委員会、中越医療構想調整会議に役員が参加させていただき、支部の職能委員会も順調に始まり、新たな活動に向けて準備を進めて参りました。しかし、地域活動は、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら開催が進み、地域に活気が戻りつつも、医療、看護の現場では、感染者の増加により制限のある生活が続き、医療が逼迫する中、支部活動も自粛せざるおえない状況に戻ってしまいました。1日も早い収束を願いながら、県協会、行政や医師会などと連携し、感染状況を判断しながら、地域活動に協力したいと思っております。

感染収束がみえず、日々苦勞して現場で業務に当たっている看護職の皆様へ感謝し、今後の活動の見直しに取り組んでいきたいと考えております。

うおぬま支部

うおぬま支部長 中島 祐子



今年6月、うおぬま支部では通常集会を開催しました。日々のストレス軽減に向けて、『コロナ禍におけるメンタルヘルス』の講演も同時に行いました。新型コロナウイルスの感染流行状況により開催の判断が直前となり、担当者には多くの負担をかけてしまいましたが、今回は是非この集会を行いたかった理由があります。前役員から引き継いだ支部の合併について会員の皆様に広くお知らせするという目的がありました。

3年ぶりの開催は前回から役員も全て入れ替わっているため、会場内配置や進行など、準備が行き届かずご迷惑をかけた部分もありましたが、人数制限した中でも集まった看護職に心強さを感じ、久しぶりに会う人・初対面の方も、実際に顔を合わせる・あいさつを交わす、やはりオンライン上とは違う、繋がりをを感じる時間でした。

今後も様々な制約は続くと思っておりますが、その中でも感染防止への新たな対策を加えながら、できることを役員と協力して考えていきたいと思っております。

十日町支部

十日町支部長 高野 幸子



新型コロナウイルス感染症の再拡大が収まる気配もない中、今年度第2回の役員会を8月9日に開催いたしました。会員が集まる機会もなかなか持てず2年が経過し、今年度は何ができるのか大変悩むところでもあります。また、コロナ禍であたりまえようになったオンライン会議や研修についても役員だけでできるのかなどの課題も上がってきています。

そのような状況の中、まずは協会として地域のイベントへの協力を検討し、状況を見ながら準備期間も設け研修会や講演会の企画を考えていこうという方針に至りました。日々、感染対応などで多忙な業務を担っている会員の皆さんに、十分な活動ができず大変申し訳ない状況ではありますが、感染が落ち着くことを願い役員の皆様とともに活動を進めていきたいと思っています。

また、うおぬま支部との合併についても引き続き検討していく予定になっています。

柏崎支部

柏崎支部長 小池 三千代



柏崎支部では、緩和ケア認定看護師の小俣若子氏を招き、『実践で学ぶエンゼルケアの必要性～遺体感染管理の立場から～』と題して、研修会を行いました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染防止に努めたうえで小規模での開催となりましたが、前年度と比較しより多くの方にご参加頂きました。

小俣氏は遺体感染管理士の資格も取得されており、現在のコロナ禍における需要も高いことで注目されています。今回の研修では模型の人形にエンゼルメイクを施す実践的な研修でした。エンゼルメイクは単なる処置の一環ではなく、ご本人やご遺族の心のケアに繋がる第一歩であることを学びました。メイクの実践のみならず、実体験を踏まえた講演は心を打ち、患者さんの死に直面することがない現場でも近親者が亡くなった時にも活かせる研修であったとご感想を頂くことができました。

上越支部

上越支部長 藤本 智恵



上越支部では、コロナ禍で会員のつながりを保つためにどう活動するかを考えています。今年はZOOMを取り入れ、各職能がそれぞれ分かれて活動するのではなく力を集結して1つの事に取り組む計画を進めてきました。ただ、この第7波はうねりが大きすぎます。どの職場においても、職員の体力も気力も奪っていると思います。家庭や私事を犠牲にして職責を果たしている会員も多いと想像します。こんな時こそ会員の心に寄り添う必要があるのですが、なかなか行動がとれないのが現状です。計画した取り組みも難航していますが、波間に会員の皆様へ何か届けたいと考えています。

先日、県の発表で新潟県は、ワクチン接種率・治療薬の処方率は全国トップクラス、人口10万人当たりの死亡率は全国最小という発表がありました。その下で我々が、仲間が、頑張っている事を自負して局面を乗り越え支部活動を行っていきたく思います。

支部の活動紹介

| 佐 | 渡 | 支 | 部 |

佐渡支部長 望月 結花



令和4年7月2日(土)に、支部集会を開催いたしました。今年度はZOOMを活用したハイブリッド形式で実施しました。感染対策やリモートの準備・運営等、初めての体験の中、四苦八苦の場面もありましたが、何とか無事に終了する事が出来ました。集会では、斉藤県会長様の参加も頂きました。看護を取り巻く社会の情勢や看護協会としての活動についてのお話を頂き、今後の支部運営の方向が明確となりました。

集会後の講演会では「少子高齢化社会における社会保障制度～持続可能な医療体制に向けて～」のテーマで、佐渡地域医療・介護・福祉提供協議会理事の佐藤賢治先生に講演頂き90名もの方々の参加があり、有意義な学びの一日となりました。

| 新 | 潟 | 東 | 支 | 部 |

新潟東支部長 石津 美和子



新潟東支部では、令和4年6月24日に通常集会並びに講演会を開催いたしました。昨年は新型コロナウイルス拡大防止のためやむなく中止としましたが、オンラインを併用して開催しました。講演会は一般社団法人日本産業カウンセラー協会の安藤ますみ先生から「看護師のためのメンタルヘルス」というテーマでご講演いただきました。社会全体がストレスフルな状況において、会員の皆様のメンタルヘルスケアに役立つ情報発信をしていただきました。ストレスへの対処能力を高め、心身の調和を大切に働きたいものです。10月29日には、新潟東西支部が合同で三職能合同研修をハイブリッド開催しました。超高齢化でぶつかる現場の問題に解決のヒントとして活用していただけたら幸いです。新潟東支部は、今後もwithコロナから新たな価値を見出しながら、皆様に還元できる活動に努めて参りたいと思います。

| 新 | 潟 | 西 | 支 | 部 |

新潟西支部長 樋口 美智子



新潟西支部の活動にご理解とご協力いただき感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い2022年度の通常集会は役員のみでの参加で行われました。特別講演会は、医療ソーシャルワーカーの田村里子氏をお招きし、「意思決定支援～本人を中心にした支援を家族・チームと共にコロナ禍で～」の講演をハイブリット形式で行いました。この講演会では、コロナ禍で制限されている地域で自分らしい生活が送れるよう、さらに良質な看護を提供するための考え方を学ぶことが出来ました。

また、会員拡大活動として、会員の特典を記載したポスターを作成、各施設に郵送しました。ほか、「新潟西支部だより」を発行、各施設の紹介を行いました。地域包括ケアシステムとして多くの施設を紹介し、知ってもらうことで横のつながりを持ち、地域の皆様及び会員の皆様へより良い情報等の提供ができるよう活動を行っていきたく思います。

地域看護専門看護師としての活動内容

上越市役所 人事課 小林 奈緒子

地域看護専門看護師資格取得のきっかけ

専門看護師(以下、CNS)とは、個人・集団および家族に対して水準の高い看護ケアを提供できる「特定専門看護分野の知識や技術」を深めた看護師のことです。現在、新潟県内では42名のCNSがあり、うち5名が地域看護CNSに認定されています。

私が大学院のCNSコースで学んだのは、保健師として採用されてから7年目が過ぎた頃でした。「質の高い保健活動とは」「住民の生活を支えているのか」といった悩みを抱え、自分自身の保健活動に不安を感じていました。そのような時に、CNSについて学び地域看護CNSの資格を得て活動するに至りました。現在は市役所に勤務し、地域看護CNSとして特別な立場などはないですが、一保健師として日々活動しております。

地域看護CNSとしての活動

CNSには「実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究」の6つの役割が求められます。これらの役割を活用し、高度な看護実践を行うことが、CNSに求められています。この中でも、特に倫理調整は重要と考えます。地域看護に携わる保健師は住民、多職種など、多くの人との関係性の中で活動しており、それらの人々の価値観は多様です。例えば、保健福祉サービスの利用を拒否する住民、安全のためにサービスを利用してもらいたい支援者がいる…、このような事例に出会った時に保健師は何を拠り所として支援の方向性を考えるでしょうか。

住民と支援者側で大事にしたいもの＝価値基準が異なることは多々あります。その時に、支援者は「困難さ」を感じ、悩みます。しかし、この価値の対立を明らかにして、課題解決のプロセスを進めることは、住民の意向に沿った支援につながるチャンスでもあります。

私もこの倫理調整に関して、さらに実践力を高めるため、地域看護CNSによる事例検討会を行っています。このような倫理調整の取り組みを、地域看護CNSだけではなく実践の場で活かしていけるよう取り組むことで、地域全体の質の向上につながっていくものと考えます。

また最近の実践活動としては、県外の地域看護CNS等のメンバーで、地域包括支援センターに勤務する保健師の役割、能力等を考えるワークショップを学会等で実施しております。このような活動に興味のある方がおられましたら、ぜひお声がけ頂きたいと思っております。

今後に向けて

自分自身の活動としては、いまだ地域看護CNSとしては役割を十分に果たせていないと感じています。今後も自己研鑽と、また新潟県内の地域看護CNS、また他領域のCNSとのつながりをもって、活動の場を広げられたらと考えております。

専門看護師に求められる6つの役割

- 個人、家族及び集団に対して卓越した看護を実践する。(実践)
- 看護者を含むケア提供者に対しコンサルテーションを行う。(相談)
- 必要なケアが円滑に行われるために、保健医療福祉に携わる人々の間のコーディネーションを行う。(調整)
- 個人、家族及び集団の権利を守るために、倫理的な問題や葛藤の解決をはかる。(倫理調整)
- 看護者に対しケアを向上させるため教育的役割を果たす。(教育)
- 専門知識及び技術の向上並びに開発をはかるために実践の場における研究活動を行う。(研究)

老人看護専門看護師としての活動内容

新潟市民病院 患者総合支援センター
副看護師長 老人看護専門看護師 島田 玲児

老人看護専門看護師とは

老人看護専門看護師(以下老人看護CNS)は、高齢者が入院・入所・利用する施設において、認知症や嚥下障害などをはじめとする複雑な健康問題を持つ高齢者のQOLを向上させるために水準の高い看護を提供しています。2022年8月現在全国で226名、新潟県では私を含めて4名が認定を受けています。私は2019年に認定を受け、現在患者総合支援センター入院支援部門の副看護師長として活動しています。

入退院支援における老人看護CNSの役割

日本は平均寿命の延伸により超高齢社会から多死社会を迎えようとしています。こうした社会変化の中で、急性期病院には高齢者がスムーズに地域に戻って生活するために必要な資源のアセスメントや、維持しなければならない機能を意識した関わり、つまり退院後の“地域の療養”を見越した高齢者看護を、入院時から提供することが求められています。

そのため、入退院支援をする老人看護CNS看護師には、院内外の多部門、多職種をつなぐ調整役割が期待されており、それぞれの職種の専門性を尊重し合えるような多職種連携に取り組んでいます。さらに収集した情報を統合して生活者としての全体像を見出す専門性が重要だと考えており、相談・教育役割を發揮しながら部署のスタッフとともに入退院支援に取り組んでいます。

老人看護CNSが実践する倫理調整

さらに2020年から院内の臨床倫理支援室運営委員会の一員としても活動しています。高齢者や認知症の増加により、意思表示が困難になった場合の医療・ケアの選択について、本人にとって何が最善か分かりにくいケースや本人や家族、医療・ケアチームの間で、その判断が一致しないケースが増えています。

患者・家族の意向を踏まえて、患者・家族と医療・ケアチームが、ともに納得できる意思決定を実現するために、多職種チームの一員として倫理コンサルテーションに参加するとともに、現場のジレンマを解きほぐすために事例検討の支援や院内教育に取り組んでいます。

老人看護CNSとして大切にしていること

私たち看護師は、常に対象者の理解を心がけて看護を提供しています。しかし“高齢”を経験したことがない私たちが、長く人生を歩んでいる高齢者を理解することはとても難しいものです。だからこそ「どのような医療・ケアを提供するか」の前に、その方の生活や人生に焦点を当て「大切にしたいことは何か」を捉え、高齢者の思いや考えに気づくこと、そこには多様な人生や価値観があることを理解できるように、丁寧な実践を心がけていきたいと考えています。

専門性の高い看護

慢性疾患看護専門看護師としての活動内容

新潟大学医歯学総合病院
看護部 外来医科 副看護師長
慢性疾患看護専門看護師 野中 共子

慢性疾患看護専門看護師としての13年間のあゆみ

慢性疾患看護専門看護師(以下慢性CNS)は、全国247名、県内8名となっています。私は、長年糖尿病ケアに携わり、2009年、県内初の慢性CNSに認定されました。大学院入学後、力不足を感じていた時に、実習で先駆者の慢性CNSの行う、病みの軌跡モデル¹⁾を用いた患者理解やケアを学びました。看護とは、このように考えるのかと衝撃を受け、その後のなりたい姿を描けるようになりました。認定後は、外来の実務管理者を担いながら、看護外来(当院名称療養指導外来)に携わっています。外来の医療は、多様化・高度化しており、慢性CNSとして外来看護と看護外来をテーマに活動を続けています。

外来看護と看護外来

外来看護は、看護8月号²⁾に実態調査の特集で、役割と期待、機能強化の掲載があり、重要視されてきていることが伺えます。当院外来医科の1日平均患者数は約1600人、看護師は、意思決定支援のためのインフォームドコンセント同席、療養指導、入院と外来の双方向の継続看護に取り組み、ほぼ全診療科で実践しています。院内で最初の継続看護は、入院インスリン導入患者に、外来での退院指導をシステム化したことでした。

看護外来は、特定の専門領域において診療の補助や療養上の世話を提供する場の外来とされています。当院は、2002年から内科の療養指導外来として開始し、現在は専用室3、複数で担当しています。年間実績は約1200件、対象は、内科10科以外の診療科に拡大しています。自己注射指導は約40種類に及び、必要な看護手順が作成されています。看護外来は、患者さんに気軽に相談できる場を提供しています。

ケアの考え方

病みの軌跡モデル¹⁾では、慢性状況におけるケアの焦点は治癒ではなく、病気とともに生きることとされています。患者さんは、急性期、安定期、下降期などの軌跡の局面をたどる中で、「病気の仕事」「日常生活の仕事」「生活史の仕事」の3つに取り組んでいます(図)。私は、患者さんのケアで、ここを大切にしています。認知症発症前から外来インスリン導入で関わったA氏70歳代男性を紹介します。下垂体疾患のクライシス期から回復、病気を管理しながら多忙な仕事を続ける、丁寧な方でした。数年後、認知症発症、奥様は当初ご本人に物忘れを指摘し、A氏は戸惑っていました。私は、奥様に介護の苦勞を否定せず伺った上で、A氏の実力された人生や人柄を伝え、1~2か月ごとに夫妻に、3つの「仕事」の話をお聞きしました。1年後、奥様が「命が危険だった時を思えば、今は一緒に温泉にも通えて幸せです」と言われ、A氏も「妻のおかげで生きています」と笑顔を見せました。私は、この時、A氏夫妻にとっての生活史の仕事である、病気とともに生きる編み直しの瞬間を、共に過ごせたと感じました。

人材育成

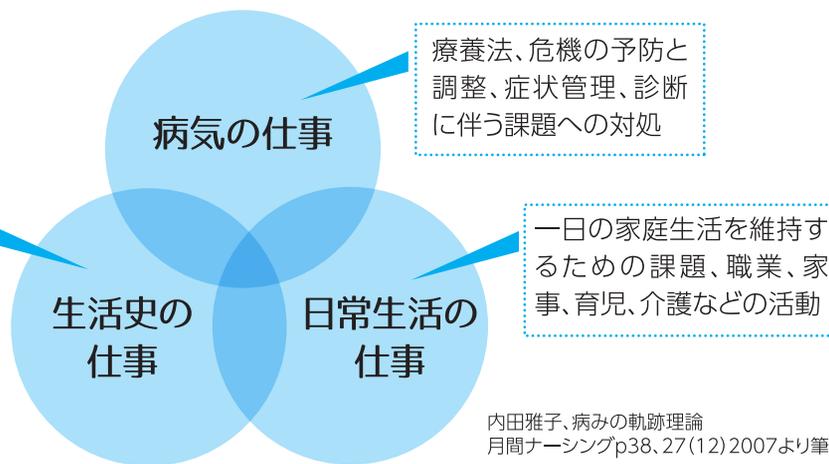
人材育成では、新人やスタッフ教育、大学院の講義と実習を担当しています。看護外来では、慢性CNSのケア実践に、後輩や学生の同席を通じて育成を行っています。看護外来を経験した看護師からは、「人はそれぞれの生活と価値観がある、その人の生活背景を想像する、探ろうとする、その考えとやり方を受け入れるようになった」等、ケアを深めている意見がありました。

コロナ禍で厳しい状況が続いていますが、患者さんに今できる最良のケアをチームで提供していきたいと願っています。

1)ピエールウグ 編、黒江ゆり子他訳:慢性疾患の病みの軌跡—コービンとストラウスによる看護モデル、p1-31、医学書院、1995
2)2021年病院看護・外来看護実態調査、看護職員実態調査解説、看護、p49-74、日本看護協会74(10)、2022

病みの軌跡を管理するための患者の仕事

自己概念や自分史を構成する認知的・情緒的な仕事病気の受容や成長を助ける
編み直し/病気との折り合いをつける内面の作業



内田雅子、病みの軌跡理論
月間ナーシングp38、27(12)2007より筆者改編作図

がん性疼痛看護 認定看護師としての活動内容

訪問看護事業部
どんぐり訪問看護ステーション 後藤 和美

認定看護師として病院から在宅へ

私は、2009年にかん性疼痛看護認定看護師の認定を受け、今年で13年目を迎えました。10年目までは病院で勤務し、看護外来での実践や緩和ケアチームの立ち上げと運営、教育活動等に取り組んで参りました。その後、仲間と共に訪問看護ステーションを立ち上げ、在宅緩和ケアの実践に取り組んでいます。どのフィールドにおいても看護の本質は変わりませんが、訪問看護では、看護の志向性は目標志向になります。一人ひとりの在宅療養者がどのように暮らしていきたいのか、そこそが重要になります。がん性疼痛看護認定看護師に求められている知識と技術の一つには、痛みの総合的な評価があります。在宅療養者の目標を踏まえ、生活状況を直接観察して痛みの評価をし、よりよい個別ケアに繋がるよう日々取り組んでいます。

どんぐり訪問看護ステーションにおけるがん看護

令和4年度の診療報酬改定において「専門管理加算」が新設されたため、がん患者への訪問看護については、体制を整備しました。私が痛みに関連する評価をし、それをスタッフと共有してカンファレンスを行い、ケアの方向性を決定します。それを在宅療養者、ご家族と共有し、ケア内容を決定します。どんぐり訪問看護ステーションは、看護師4名、事務員1名の5名体制で事業展開しています。がん患者への看護は、私が専門的管理を行いますが、スタッフ全員で関わっています。カンファレンスでは、スタッフからの気づきも多くあり、私自身も思考の整理に繋がり、よい機会となっています。

緩和ケアチームとの協働

令和4年度より、佐渡総合病院の緩和ケアチームのカンファレンスに入らせて頂いています。当事業所のご利用者に関する検討もでき、病院での情報と在宅での情報を統合する機会となり、訪問看護に活かすことができています。また、他の事例に対してもアセスメントをし、助言をさせて頂いています。今後も、この場

で在宅の情報について提供し、病院看護師の方の退院指導やケアに活かして頂けるよう介入していきたいと考えています。

生活の中の緩和ケア

痛みを抱えながら暮らすことは、身体的苦痛ばかりではなく、心理社会的苦痛も強くなり、非常につらい状況になります。在宅においても、痛みの評価を元に、医師と連携して薬剤調整に介入し、在宅療養者やご家族への指導介入も行います。また、多職種と連携し、支援者が同じ方向性で関われるよう指導や相談対応も行います。このように関わるプロセスの中で、どの在宅療養者の方も、ご自分の生活スタイルに応じたセルフケアを獲得していかれます。つらい状況でもそれを乗り越えようとする力を持っておられます。私は、学会で『生活の中にこそ緩和ケアがある』ということを学び、このことを確かめたいと思い、訪問看護を志しました。生活の中で必要なケアを受けることで、自分の持てる力を発揮し、よりよい暮らしに繋がることが分かり、緩和ケアの新たな様相を見ているような気がしています。

訪問看護ステーションにおける認定看護師等 専門の教育を受けた看護師の状況

令和3年度訪問看護実態調査より (調査数171施設 回答135施設)

2021年11月1日現在

圏域	認定看護師		特定行為研修修了者	
	人数	分野	人数	分野
下越	0			
新潟市	5	訪問看護 (3) 緩和ケア (1) 小児救急看護 (1)	1	中心静脈カテーテル管理 (1)
県央	1	訪問看護 (1)		
中越	2	訪問看護 (1) 緩和ケア (1)	1	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの) (1)
魚沼	0			
上越	2	訪問看護 (1) 精神科 (1)		
佐渡	1	がん性疼痛看護 (1)		
合計	11		2	

※専門管理加算;専門の研修を受けた看護師が、専門的な管理を含む訪問看護を実施する場合の評価。訪問看護ステーションの①緩和ケア、褥瘡ケアまたは人工肛門ケアおよび人口膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師②特定行為研修を修了した看護師が、指定訪問看護の実施に関する計画的な管理を行った場合の加算。

看護補助者とのチームワークを円滑にするために —— 看護管理者として大切にしていること ——

労働環境改善推進委員会
委員長 柴田 百合子

看護職に最も身近で、共にケアを提供する看護補助者との協働は、効率的に、また、安全に質の高い看護を提供するために欠かせません。しかし、体制を整備する看護管理者は必要性を理解していても実際にどのように進めていくのか、何が大切なのか模索している現状があります。そこで、県内の2施設の病院の取り組みを共有し自施設の課題解決に取組み、看護補助者との協働を推進できることを目標とし、8月19日に研修会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染拡大時期と重なり急遽Web開催に変更され、4名が欠席となりましたが、23名が参加できました。業務繁忙の中、研修参加にご配慮いただき感謝申し上げます。

JA新潟厚生連小千谷総合病院看護部長の島川夏代氏、医療法人白日出会黒川病院看護部長の河内学氏より取り組みについて発表いただきましたので概要をご紹介します。

小千谷総合病院では、看護部長の願いである「スタッフがやりがいを感じながら生き生きと働ける」ことを実現するため、看護部を対象に職務満足度調査を実施し、「お互いを尊重し良好なコミュニケーションでチームワーク良く仕事ができる」ことに取り組まれました。協働を推進するためには、互いを尊重したコミュニケーションやチームの一員として認めること、頑張りをお認め評価することが重要であることを学びました。

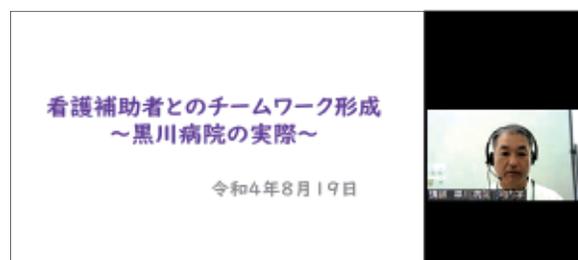
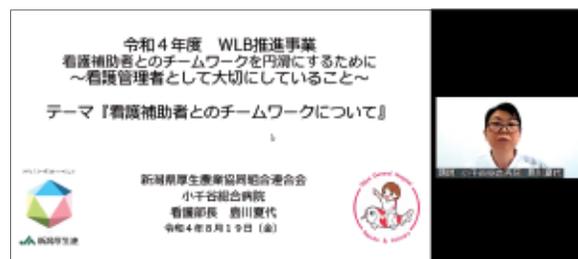
黒川病院では、病棟再編時に看護補助者として工場勤務や主婦等、様々な背景の中高年を多数採用し、看護チームが機能しなくなった経験から問題解決した経過についてお話いただきました。看護管理者が理念に沿った看護が提供できるよう組織文化を醸成し、現在では看護補助者の活用を広げることができているとのことでした。継続した取り組みとスタッフの小さな自己変容を積み重ねていくことで実現できる事を学びました。

グループワークでは、看護師・看護補助者の教育や情報共有・業務依頼の方法、看護補助者の実施記録、管理者として大切にしていること等、具体的に意

見交換ができました。看護補助者も日々のカンファレンスに参加している、看護補助者のラダーを導入している、看護指示書で業務依頼をしているなど、具体的な取り組みについて共有できました。研修後アンケートでは「実務に活かせる内容である」が95.2%であり、「同じ悩みを抱えながらも計画している教育体制を聞くことができ、参考にしたい。」「対等なコミュニケーションと承認が重要だと実感した。日頃からありがとう、助かっている等の声掛けは出来ていないとわかった」等の感想が寄せられました。本研修の学びを活用し、チームの一員として看護補助者との協働を推進するための取り組みが実践されることが期待できます。

互いに役割や立場を理解し、認めながらより良い働き方を考え実践していくことは簡単なことではありません。当委員会では「看護職の労働環境相談」を設置しており、相談内容は看護補助者との協働に関することとしております。皆様から相談されたお悩みや課題について一緒に考え、支援を行うものです。こんなことで相談してもいいのかなど考えず、どうぞお気軽にご利用ください。

各病院 発表の様子(オンライン)



高校生一日看護師体験事業

高校生が看護に対する認識と理解を深め、進路選択にあたり看護職を志す動機づけの一助とすることを目的に行っています。令和4年度は、新型コロナウイルス感染者数が過去最高を更新するなど各地で猛威を振るい、当初95病院での開催を予定しておりましたが中止の影響により、33病院・227名の参加となりました。感染拡大の中、受入準備や開催にご尽力いただきました病院の皆様には感謝申し上げます。



※取材協力 厚生連 豊栄病院

受入病院の感想

- 高校生の思いや将来への手助けになるのであれば少しでも工夫して開催したいと考え実施とした。この活動を通じて看護職を選択して頂けるとありがたい。
- 受け入れる側も新鮮な反応や質問を受けることができ、とてもいい体験になると思う。今後の看護職を担う若い世代には、このような普段見る事ができない場所を見たり話を聞く機会が大切だと思った。

高校生の感想

- コロナ禍でこのような体験が難しい中、看護体験ができてとても嬉しかった。患者さん1人1人に寄り添っている場面を見て改めて看護職になりたいと強く思いました。
- 看護師さんから直接お話を聞くことでよりイメージがわき、とてもやりがいを感じられる仕事だと思えた。自分も地域の人々を支えられる看護師になりたいと強く感じました。

認定看護管理者教育セカンドレベル研修の学び

大切な仲間との出会い

厚生連 小千谷総合病院附属十日町診療所 看護師長 宮崎 弥英子

出産を機に師長職から離れた10年のブランクを埋め、看護管理者としての知識を最新のものにアップデートしたいと思ったのが受講動機でした。

連日の講義では、絶えず変化している社会の動向や地域の課題などへ視野を広げることができました。講師の先生方のパワーに圧倒されつつ、言葉の一つ一つを逃したくないと感じるほど、贅沢な学びの時間でした。どの先生も「言語化」ということを話されていました。看護管理者として、理念・目標・看護観を具体的な言語で語り実践に導くこと、現象ではなく原因にアプローチすることが重要であることを学びました。現象から真の問題を導く過程では、自分一人の思考の限界を、支援者の先生の導きや、グループメンバーと話したりすることで、何度も何度も考え直しながら、ようやくたどり着くことができました。研修前には、組織の停滞や人材育成を課題と考え、問題点の焦点を人に当てていました。そのため、解決策が少なく、何をを目指したいのかも見えてきませんでした。しかし講師の

先生に質問しながら講義が進んでいく中で、私が解決したのは、人ではなく看護の質であり、患者へより良い成果をもたらすための管理であると気づきました。問題の本質を捉えるプロセスと批判的思考が日頃の看護管理では大切になることを実感しました。

普段当たり前に使っていた言葉も、その意味を考える機会になりました。質管理では「確認」というワードは曖昧であり、「照合」に置き換えることが実践的であることを学びました。職場に持ち帰ったところ、すぐにインシデントレポート報告で、照合という言葉を使う職員達の変化を誇らしく思いました。学びを活かす場面を意識しながら、実践していきたいと考えています。

2か月間共に、学び・悩み・笑い・励まし合った19名の同志に巡り会えたことは、一生の宝となりました。新型コロナウイルス感染症の終息が見えず、辛い日々が続いていますが、頑張っている仲間がいることを心の支えにし、前進していきたいと思えます。

新潟県立十日町病院 看護副部長 板垣 雅美

楽しかったもう一つの理由は共に受講した仲間の存在でした。励まし合ったことも、ハプニングに大笑いしたことも、一緒に悩んだことも、大切な思い出となりました。



2022セカンドレベル研修共に学びを深めた仲間達

セカンドレベル研修は大変だと聞いていました。確かに2か月間の日程の中盤まで講義が続き、帰宅後の学習ノート作成には時間がかかりました。終盤は自部署の問題を明らかにして目標を設定し、支援者の先生にご指導いただきながら、考え抜いて改善計画書を完成させました。しかし、学ぶことは楽しく、講義中何度も深く納得しました。「心理的安全性」「情報の非対称性」「ナレッジマネジメント」「動機づけ理論」「批判的思考」「変革理論」など挙げればキリがありませんが、看護管理者として必要な知識や姿勢、考え方を学ぶことができました。そして「患者中心の看護」です。看護は、患者の意志の尊重こそが最も重要であり、「療養環境」を患者目線で検討した講義は印象に残りました。

ナースシップよりお知らせ

日本看護協会から「2023年度継続のお知らせ」が発送されました!

大切なお知らせですので、必ずご確認ください。

2022年度の会員さまは
2023年度も自動継続になります。

登録内容に変更がない方
提出不要です。

2023年度の新規・再入会の手続きは、WEB入会
は10月1日から、入会申込書での申し込みは
11月1日より始まっております。
WEBからの手続きは新潟県看護協会HPの
キャリアナースのバナーかQRコードからどうぞ。

登録内容に変更がある方

- 施設で登録の会員の方は、変更箇所を訂正欄にご記入の上、個別の返信用封筒に入れ、施設の会員代表者様へお渡しください。
- 個人会員の方は、返信用封筒に入れ、郵送してください。

会員専用ページ

キャリアナース



- 入会金／10,000円 (初めて入会する方のみ)
- 新潟県看護協会費／7,500円 ●日本看護協会費／5,000円

次年度継続を希望しない方→退会届を提出してください。退会届は新潟県看護協会HPよりダウンロードできます。PCを利用できない方は新潟県看護協会へご連絡ください。退会届をお送り致します。お電話での退会は受付できません。必ず退会届を提出してください。

注) 会費の納入方法が口座振替の方は、2022年12月20日までに退会届の提出をお願いします。退会届の提出がないと、2023年1月27日に会費が登録口座より引き落としとなります。

新潟県ナースセンターからのお知らせ

新潟県ナースセンターは、都道府県知事の指定を受け新潟県看護協会が運営している、**無料職業紹介所**です!

(看護職の方の就職活動をサポートします!)
ぜひお気軽にお問い合わせください。

eナースセンター

(公社)日本看護協会が運営する看護職のための求職・求人サイトです。(無料)求職・求人の登録は、eナースセンターから簡単登録♪



あなたの街で相談サポート

新潟県ナースセンターの本所および支所・相談窓口は、新潟・長岡・上越・南魚沼・柏崎の5カ所で開設しています。新潟県ナースセンターのホームページをご覧ください♪



新潟県看護協会会員の皆様にお得なご案内

お会計の際、会員カードのご提示で

5%OFF

各レストラン、ランチ・ディナータイムでご利用いただけます。

フランス料理レストラン



TEL025-228-6170

中国料理レストラン



TEL025-228-6172

日本料理レストラン



TEL025-228-6171

鉄板焼きレストラン



TEL025-245-1129

鉄板焼きレストラン
TEL025-211-7703



ウォーターフロント&ナイスビュー
新潟グランドホテル

看護の専門書のことなら、私たちにお任せください!

会員様特典

考古堂書店の店頭(古町本店・新大店)で現金でお買い上げの際に会員証をご提示いただくと、ご購入金額の**7%分のサービス券**(100円未満切り捨て)を発行いたします。このサービス券は、次回以降、現金でのご購入の際にお使いいただくことができます。



■古町本店

- 月～土曜日:10時～18時 ●定休日:日曜・祝日
- 駐車場あります

■新大店(新潟大学医歯学総合病院 東病棟1階)

- 月～金曜日:8時～18時 ●土曜日:8時30分～17時
- 定休日:日曜・祝日

考古堂書店

〒951-8063 新潟市中央区古町通四番町563番地 <http://www.kokodo.co.jp>
TEL.025-229-4050 FAX.025-224-8654 e-mail: post@kokodo.co.jp

BOOK 2022.07～11新刊図書

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1 | 認知症plus 行動・心理症状のケア
内田陽子 編/日本看護協会出版会 | 6 | 訪問看護と歩んだ50年支えられて「介護の線引き」を許さないために
内田恵美子 著/星雲社 |
| 2 | 2022年度診療報酬改定対応「重症度、医療・看護必要度」解説書
公益社団法人日本看護協会 編/日本看護協会出版会 | 7 | 仕事も人間関係もうまくいく方法を語ってみた
Nバク 著/日本看護協会出版会 |
| 3 | 在宅療養者のスキンケア健やかな皮膚を維持するために
岡部美穂 編/日本看護協会出版会 | 8 | 令和4年版 看護白書 訪問看護のさらなる推進
公益社団法人 日本看護協会 編/日本看護協会出版会 |
| 4 | はじめて学ぶグリーンケア
宮林幸江・関本昭治 著/日本看護協会出版会 | 9 | この国の医療のかたち 医療政策の動向と課題
尾形裕也 著/日本看護協会出版会 |
| 5 | 新 はじめよう!フットケア
西田壽代 監修一般社団法人 日本トータルフットマネジメント協会 編/日本看護協会出版会 | | |

Let's Cooking

私の上手が料理!

秋の味覚、様々なきのこを使った、簡単料理です!



新潟手の外科研究所病院 管理栄養士 山崎 香織

材料(4人前)

- オープン用マフィン型12個用
- きのこ(えりんぎ、舞茸、しめじなどお好きなもの)100g
- サラダ油10mL、塩コショウ少々
- 餃子の皮(市販の大判サイズ12枚)
- 卵2個
- ベーコン20g
- 調整豆乳100mL
- とけるチーズ適量
- パセリ(みじん)
- アルミホイル

簡単きのこ豆乳キッシュ

作り方

- 1 きのことベーコンを火が通るまで茹で、ザルにあげ粗熱をとる
- 2 ①を容器に移し、サラダ油、塩コショウを入れ混ぜ合わせ、20分程漬け込む
- 3 ボールに卵と豆乳を入れ、混ぜ合わせ卵液を作る
- 4 マフィン型に餃子の皮を敷く
- 5 ④に②の具材とみじん切りにしたパセリをのせ、卵液を流し入れる
- 6 とけるチーズを適量のせ、アルミホイルをかぶせ、オーブントースター600Wで10分焼く
- 7 アルミホイルを外し、さらに5分焼き完成

調理のコツ

オーブントースター使用

- ※舞茸を入れるとだしが出るのでおすすめです
- ※餃子の皮はこげやすいので注意(要アルミホイル)
- ※オープン対応のおかずカップで代用可

編集後記

編集にあたり多くの皆様にご協力いただきありがとうございます。寒い季節となりますが体調を崩さないようお過ごしください。広報委員も寒さに負けず皆様に親しんでもらえる協会だよりにできるよう努力してまいります。

広報委員会: 大堀/西潟/神田/植木/本間/安達